

<認知症対応型共同生活介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	4670600123
法人名	特定非営利活動法人 ケアサポートはんず
事業所名	グループホーム 桃の家
訪問調査日	平成 21 年 4 月 14 日
評価確定日	平成 21 年 5 月 13 日
評価機関名	到底非営利活動法人 社会保障制度活用支援協会

○項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年 4月16日

【評価実施概要】

事業所番号	4670600123
法人名	特定非営利活動法人 ケアサポートはんず
事業所名	グループホーム 桃の家
所在地	鹿児島県阿久根市山下4452番1 (電話) 0996-72-3751

評価機関名	特定非営利活動法人 社会保障制度活用支援協会
所在地	鹿児島県鹿児島市城山一丁目16番7号
訪問調査日	平成21年4月14日 評価確定日 平成21年5月13日

【情報提供票より】(平成21年3月26日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 13 年 7 月 20 日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	19 人 常勤 12 人, 非常勤 7 人, 常勤換算15.6人

(2) 建物概要

建物構造	木造コロンアル葺き 造り 1階建ての 階 ~ 1階部分
------	--------------------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	21,000 円	その他の経費(月額)	18,600円(水道光熱・管理費)	
敷金	有(円) <input type="radio"/> 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) <input type="radio"/> 無	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,000 円			

(4) 利用者の概要(3月 26日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	3 名	要介護2	4 名		
要介護3	7 名	要介護4	3 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 89 歳	最低	80 歳	最高	99 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	内山病院 ・ 喜多医院 ・ 脇本病院 ・ あくね歯科医院
---------	------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

肥薩オレンジ鉄道の大川駅より東北東方向の山間部に向かって車で7分走ると玄関前に桃の花が満開のホームが見えてくる。建物の周りは木蓮、紫陽花、枇杷、花水木、つつじなど多種の木が植えてあり1年中楽しめる。澄み切った空気と鳥のさえずりが聞ける環境である。同敷地内にデイサービス桃の家があり利用者は太極拳・音楽・折り紙・書道・ちぎり絵の教室に参加し地域の人たちとふれあう場になっている。運営者は管理者を兼ねており、常に利用者の安全、安心を考え、関わる職員の質を高めるための支援や指導をしている。職員は利用者には礼儀正しく笑顔で接しており和やかな雰囲気ホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の改善課題は介護計画の見直しについての一項目で、利用者の見直しが長期間なため、定期的な見直しを求められていた。見直しはしていたが記録として不十分な点があったことを改善し、最低3ヵ月に1回の見直しをした介護計画の作成を行い改善している。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>運営者(管理者)は各棟の主任に評価作業を依頼し、主任が作成している。運営者は主任から受け取った書類を見ながら改善課題を話し合いまとめている。評価を形式的な作業に終わらせず、狙いや活用方法を全職員にわかりやすく説明され全員で取り組まれることを望みます。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>会議は2カ月に1回開催している。サービスの向上に活かす討議には至らないが、地域の人の疑問点やご家族の不安解消に向けて積極的に討議がなされている。ホームは会議を通じ地域の方に事業所を理解してもらうことができ大きな効果となっている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>ご家族の面会時、家族会、運営推進会議、ホームの意見箱など意見を求める機会を設けているがなかなかあがってこない。出された要望にはその都度改善に向けて話し合い運営に反映させる仕組みになっている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>区民として加入し、集金やチラシ配布の役割分担を担い、いきいきサロンや節祭りなど地域行事に参加している。地域の石像(毘沙門天)や下水道の清掃も自主的に行っている。事業所の力を活かし地域住民の認知症相談に応じたり民生委員の勉強会を引き受けている。ホームのバイキング料理行事に地域住民の参加を呼びかけるなど積極的に地域との交流に努めている。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスへの移行に伴い、理念の見直しをされ、運営理念と介護理念を掲げ、利用者が地域の中で暮らしていく為の独自の理念が作られている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝のミーティング時、理念の実践がなされているか業務日誌で確認しあっている。業務中においても常に意識できるように、理念を玄関、フロアー、事務所に掲示している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	区民として加入し、集金、チラシ配布の役割分担を担い、いきいきサロンや笛祭りなど地域行事に参加している。事業所の力を活かし地域住民の認知症相談に応じたり、民生委員の勉強会も引き受けている。ホームのバイキング料理行事に地域住民の参加を呼びかけるなど地域との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価作成について管理者は各ホームの主任に評価作業を依頼し、主任が作成を行っている。管理者は主任から受け取った書類を見ながら改善課題を話し合いまとめている。前年度の外部評価改善課題1項目については改善されている。	○	主任だけで評価の取り組みをするのではなく、全職員が評価の意義や活かし方を前向きに理解し、質の確保に最大限に活かされることを望みます。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議は2か月に1回開催されている。サービス向上に活かす討議には至らないが、地域の方の疑問点やご家族の不安の解消に向けて積極的に討議がなされている。ホームは会議を通じ地域の方に事業所を理解してもらえたという大きな効果を得ている。		

鹿児島県 グループホーム 桃の家

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	平成13年の開設から市と行き来する機会は多く、パンフレットの配布やホームの状況伝達、相談等を行っている。市からは改正の話し合いやスプリンクラー設置の説明等必要な情報提供を受け、共にサービスの向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	ご家族には毎月ホームの様子を便り(便りには個別のコメントが記されている)し、写真を添えたり個々に合わせた報告をしている。金銭管理は責任者を定めご家族に報告し確認をもらっている。面会時や電話でも暮らしや健康状態の報告をしている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の面会時や家族会、運営推進会議、ホームの意見箱など意見を求める機会を設けているがなかなかあがってこない。出された要望にはその都度改善に向けて話し合わせ運営に反映させる仕組みになっている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者は職員の離職者が出ないように得意な分野を(料理、介護...)活かした配置にしたり、常に人間関係がうまくいよう配慮している。介護スタッフのバランス保持の為ユニット間での異動は行うが、2ユニットでの合同行事も多く馴染みの関係ができており支障はない。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は必要と考える研修(記録の仕方、認知症介護、ヒヤリハット...)や外部研修の伝達学習などを計画し、2カ月に1回全員参加で午後7時～9時内部研修を行っている。外部研修には計画作成担当者、主任を中心に職員を積極的に参加させ育成に努めている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営者は出水・川薩地区グループホーム連絡協議会に参加し現在会長役を担っている。職員も研修に参加させ同業者との交流を図っている。阿久根以外のグループホーム視察も行いサービスに活かすよう職員で話し合っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居者は隣接のデイサービスを利用し、ホームの利用者と顔馴染みになり納得されて入居される場合が多い。他の小規模多機能や老健から急な入居もあるが、24時間その人にあわせたパーソンセンタードケアにより納得し、安心できるように支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人の生活歴や得意(人形作り、料理の盛り付け、味付け、野菜作り、折り紙細工、歌・…)とするものを活かしながら、職員は場面の中で教えてもらったり、感謝したり、喜んだり、励ましあったりしながら支えあう関係を築いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時の思いや意向の把握にはいろいろなアセスメントシートを利用している。現在職員は日頃の生活場面の中で気づきを記録するシートを利用して本人の希望や意向の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職員や家族が同時に集まっての話し合いは行われていないが、利用者や家族の意向を話し合った上で、計画作成担当者を中心にスタッフと協議し利用者本位の介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎朝のミーティングにおいて変化のあった人の情報交換をしている。見直し以前に対応できない変化が生じた場合は経過記録を参考にしながら、関係者と話し合い新しい介護計画を作成している。変化がなくても最低3か月に1回の見直しをしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	看護師が日々の健康管理を行い、医療機関と連携し2週間毎の往診を行うなどホームで継続した生活が送れるように支援している。家族の状況に応じて通院介助、美容院行き、一時帰宅、墓参りなど柔軟な支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の納得の上かかりつけ医は、殆ど同じかかりつけ医になっている。2週間に一回定期的な往診がされており、往診の前日にはホームから医師に一人ひとりの情報を提供して適切な診療が受けられるように連携している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時には看取り介護に関する指針の説明を行い同意をもらっている。家族の殆どは終末期をこのホームで送ることを望んでいる。今までに4名の看取りを行っており、早い段階から家族、医師、管理者(看護師)、職員全員で話し合いが行われ方針を共有している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員の雇用契約に個人情報について守秘義務を謳っている。入浴介助、トイレ介助、入室マナー、言葉かけなどプライバシーに関する教育は徹底しており、職員の対応の良さがうかがえる。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は利用者が望む暮らし方を優先し、食事時間、就寝時間などその人のペースに合わせている。散歩や買い物、美容院行き等の外出、コーヒーやお酒の嗜好品、趣味の折り紙、人形作り、その人らしく希望にそって過ごせる支援をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	運営者は食事がおいしく食べれるように食材の仕入れ先にこだわり、自家製の新鮮な野菜や卵を使用し、調理の得意な人に担当してもらいおいしい食事の工夫をしている。利用者の嗜好も考慮し代替品を準備したり、一緒に下ごしらえや盛り付けを行い職員と一緒に会話をしながら食事を楽しんでいる。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ユニットにおいて月、水、金、火、木、土と入浴日を決めているが希望があれば柔軟な対応もしている。安全な入浴ができるように移動式の手すりや湯床の高さ調節器具を備えている。本人の好みで湯温、入浴時間、順番など希望にそって入浴を楽しめるようにしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	掃除、洗濯物干し、食事の準備・片付け、鶏の世話、花の水撒きなど個々の能力に応じた役割をしてもらっている。デイサービスの教室(太極拳、音楽、ちぎり絵など)に週に1~2回参加したり、趣味の人形作り、オルガン弾き、カラオケ、神社参り、散歩、買物、ドライブなど楽しみや気晴らしの支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は戸外へ散歩やドライブに出かけ花や、畑を眺めて五感刺激と気分転換を図っている。自宅帰りやお寺参り、買物などできるだけ的外出支援を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけることの弊害を理解して、居室や玄関、その他の出入りに鍵をかけないことを原則としている。申し送り中の目が行き届かない時には安全のため鍵をしている。万一の外出に備えて地域住民へ協力依頼をしている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署立ち会いの防災訓練は年1回、自主訓練を年2回(避難誘導、通報訓練、消火訓練)行っている。毎月1回は夜勤者を中心に自動通報装置で16カ所(消防署、職員、地域の人)に伝わる通報訓練を行っている。食糧の備蓄は常に一週間分の備えがある。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	職員である管理栄養士が栄養のバランスやカロリー計算をし、献立が立てられている。食事や水分摂取量についても記録され摂取量が少ない人には確保するなど支援が行われている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関周りはロータリーになってスロープもあり安心して出入りができる。ホームからはどの部屋からも周辺の山や畑の季節の移り変わりが見渡せる。窓からさわやかな風が入り、鳥のさえずりが聞こえてくる。ホールの一角が畳で床の間には四国巡礼の掛け軸や千手観音と愛染明王が祀られ、壺には季節の花が豪華に生けられ落ち着ける工夫がされている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	管理者や職員は本人の使い慣れた品物の持ち込みを勧めており、和風作りの部屋にそれぞれの家庭からタンス、仏壇、電話、オルガン、テレビ、家族写真、鏡等を持ち込み、本人の暮らし易い居室になっている。		